

環境保全活動に関する方針等
別紙1

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 三菱電機(株) 高周波光デバイス製作所

三菱電機 北伊丹地区 環境方針

三菱電機 北伊丹地区 (以下: 当所) は半導体デバイスの開発・製造機能を有し、電気エネルギー、化学物質等を大量に使用しており環境に及ぼす影響は極めて大きい。

当所は地球環境と地域社会に調和した事業活動を推進するために、環境方針を以下の通り定め、事業経営との共生を図りながら当所の事業活動、製品及びサービスの全てに適用し、持続可能な発展を目指す循環型システムの追求に取り組むと共に、継続的な向上及び環境汚染等の予防を図る。

「三菱電機グループ第8次環境計画」に沿って目的・目標を明確にし、環境管理活動を推進する。

【重点項目】

1. 環境重点管理テーマとして以下の事項に取り組む。
 - (1) 生産時 CO2 排出削減
 - ① エネルギー起源 CO2 排出削減
17年度削減量: 1,125t-CO2 (14年度排出実績 3.8%相当の削減策実施)
 - ② GHG 排出削減 (排出量の維持管理)
 - (2) 環境適合設計 (DfE) の推進
 - (3) 環境負荷物質の削減
 - (4) 環境に配慮した事業活動の推進
2. 工事着手前の法規制確認・届出確認ルールの徹底と、遵法評価の2回/年、部門単位での実施などチェック機能の充実により、環境関連法規等のルールを確実に守る体制を強化する。
3. 当地区周辺の自然環境を大切にすると共に、関係官庁、地域住民、取引先と積極的にコミュニケーションを図り、生物多様性の保持及び地域共生に努める。
4. 当地区の従業員に環境方針を周知させると共に、環境教育・広報活動等により、家族を含めた環境意識の向上と環境人材の育成を図る。

この環境方針は社外へ公開する。

2017年3月15日 渡邊 斉

北伊丹地区環境総括責任者: 高周波光デバイス製作所所長

環境保全活動に関する方針等
別紙 2

環境保全活動に関する組織体制

三菱電機(株)本部・本社部門 半導体事業本部

北伊丹地区環境総括責任者
(三菱電機(株)高周波光デバイス製作所長)

北伊丹地区環境会議

メンバー

北伊丹地区環境総括責任者

部門長

関係会社 所長

地区環境推進責任者

(製造管理部長)

地区環境監査責任者

(品質保証部長)

幹事

環境推進事務局リーダー

北伊丹地区環境内部監査チーム
地区環境監査責任者
(品質保証部長)

北伊丹地区環境推進責任者
(製造管理部長)

北伊丹地区環境推進事務局
リーダー
環境・インフラ管理課長

北伊丹地区環境推進委員会

委員長：地区環境推進責任者

委員：地区環境推進委員

委員：部門環境推進委員

幹事：地区環境推進事務局リーダー

三菱電機(株)北伊丹地区 各部門

環境保全対策の実施状況

別紙 3

項目	平成28年度の取組結果	平成29年度の取組計画
生産時CO2 排出削減	1. 14年度排出実績0.8%相当の削減策実施 目標削減量:240t-CO2 実績削減量:559.8t-CO2 (達成率233%) 2. GHG排出削減 (1) プロセスガス (PFC,HFC,SF6)の除害、適正処理を継続する →実績:排出量 1,950t-CO2 除害量 1,338t-CO2 (2) 業務用冷凍空調機器の定期点検を導入。 漏えい量の抑制簡易点検及び定期点検を実施。 →漏えいなし	1. エネルギー起源CO2排出削減 1,125t-CO2 の削減を計画 2. GHG排出削減 (1) プロセスガス (PFC,HFC,SF6)の除害、適正処理を継続する (2) 業務用冷凍空調機器の点検を継続し、漏えい量を抑制する
環境適合設計 (DFE)の推進	1. 小型製品・低消費電力製品の開発・量産化 →達成 2. 環境負荷低減製品の開発・量産化 →達成 3. 省資源製品の開発 →達成	1. 環境負荷低減製品の開発・量産 2. 省エネルギー製品の開発 3. 減量化製品の開発
環境負荷物質削減	1. 回収したトランス、照明用安定器等PCB機器の適正管理 →PCB含有トランスを適正保管 2. PCB、アスベスト等有害物質の適正処理の継続実施 →高濃度PCB含有機器の処分完了	1. PCB含有機器を適正に管理する 2. PCB等有害物質の含有の恐れのある設備機器を適正に管理処理する
環境に配慮した 事業活動の推進	1. 近隣との環境コミュニケーションの拡充→達成 2. グリーン認定制度による環境負荷削減→達成 3. ロス削減→達成	1. 近隣との環境コミュニケーションの拡充 2. グリーン認定制度による環境負荷削減 3. ロス削減